

水稻新品種「ココノエモチ」

誌名	農業技術
ISSN	03888479
著者	赤間, 芳洋
巻/号	43巻9号
掲載ページ	p. 421-421
発行年月	1988年9月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council
Secretariat



水稲新品種「ココノエモチ」

赤 間 芳 洋

温暖地の山間・中山間部には零細な経営規模の農家が多く、その多くが主として自給用に糯品種を作付けしている。この地帯では冷害、いもち病の被害が多く、水口に作付けされることが多いことが、その被害を助長している。今まで早生で、耐冷性、いもち病抵抗性の優れた、短稈で作りやすい品種はなかったので、「ココノエモチ」はこの要望にそって育成したものである。

来歴 昭和52年愛知県農総試山間技術実験農場（農水省指定試験）交配。中部26号/稻系糯108(中部37号)。登録番号：農林糯293号。命名の由来：秋の穂が重なりあう様子に由来する。奨励品種採用県：愛知県。

特性の概要 「ココノエモチ」の稈長は「鈴原糯」より20cm、「トヨニシキ」より更に短く、糯品種としてはかなり短稈である。短芒をわずかにつけ、稈先色、稈色ともに赤褐色である。玄米の形は中、粒の大きさも中程度で、外観の品質は良い。

出穂・成熟期は「鈴原糯」より10日以上早く、「トヨニシキ」よりわずかに遅い。耐倒伏性は短稈でもあり、糯品種としては極めて優れる。いもち病抵抗性は、真性抵抗性遺伝子 P_i-a を持つと推定され、ほ場抵抗性は葉

・穂いもちともに強く、我国の品種中で最強のグループに入ると思われる。白葉枯病抵抗性は中～やや弱、カラバエ耐虫性は強、耐穂発芽性は難である。中期冷水掛しによる耐冷性検定ではヨネシロ、ヒメノモチ、初星、チヨニシキの何れより不稔が少なく、耐冷性は強とみられる。収量性は糯品種としては極めて多収である。

適応地帯及び栽培上の注意 温暖地の山間・中山間地帯に広く適応するとみられ、中山間部の標高の低い地帯では水口に作付けする程度にとどめたい。また、極端な早植えをするなど雀害などの思わぬ被害にあうことがある。

愛知県では「鈴原糯」に替って山間・中山間部全域を対象に普及を見込み、奨励品種(特定)に採用した。

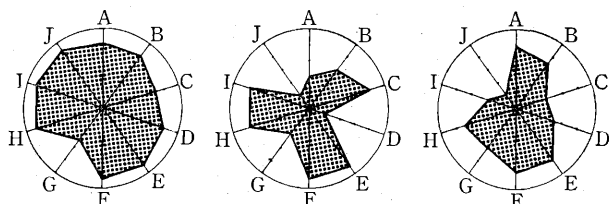
「ココノエモチ」は短稈で作りやすいが、多肥での紋枯病の発生や品質低下に注意する必要がある。反面、ある程度生育量を確保しないと十分な収量が得られない。

育成後記 奨励品種採用県の愛知県の山間・中山間部には約2,500haの水稲が作付けられ、一戸当たり平均面積は20a弱とみられる。域内の住戸の約70%は水稲を栽培しているとみられ、そのほとんどが自給用、縁故米として糯品種をわずかに作付けしている。このような傾

向は我国の温暖地の山間・中山間部に共通で、糯品種ほど強い。好ましいかどうかは別として、これほど多く人間が係わっている自給用の糯についても品種の面から見直すことは重要と思われる。「ココノエモチ」はその特性の安定性、良品質、作りやすく多収なことなどから貢献出来るものと考えられる。

「ココノエモチ」の育成を振り返ると、①世代促進を宮崎農試にお願いした反面、系統群選抜のみの期間を2年経て予検材料に偏入されたこと、②昭和55年に穂系統を供試したが、その系統数は97と極めて少ない。③昭和57年には糯の材料が4組合せ76系統と少なく、他の材料の選抜がすんでからだったので、霜で枯れ、セジロウんカによるすす病と相まって見るも無残な姿の中を選抜した。そんな中で、若い人達が張り切って選抜してゆくの引張られたことを思い起こされる。④この系統は昭和59年系統群間で耐冷性が分離していて、強い方に中部糯57号を命名した。

(愛知県農業総合試験場実験農場水稲育種試験地主任)



ココノエモチ 鈴原糯 トヨニシキ
A収量 B品質 C食味 D耐倒伏性 E葉いもち F穂いもち
G白葉枯病 Hイネカラバエ I 耐冷性 J穂発芽性

第1図 ココノエモチと比較品種の主要特性

注) 各々の特性は円周に近いほど・多・良・強、難で、特性が優れており、外周と一致すると満点である。

第1表 福岡県立女子短大生による食味試験結果(昭62.11)

	総合	外観	香り	味	粘り	硬さ	パネル数
1回目	1.37*	0.96*	0.30	0.85*	0.67*	-0.67*	27
2回目	0.68*	0.71*	0.04	0.11	0.46	-0.39	28

注) 食糧庁方式に準ずる。基準品種はミナミニシキ

* 印は基準品種と5%水準で有意差があることを示す。

Yoshihiro AKAMA: A New Rice Variety "Kokonemochi". 農業技術 43 (9), 1988.